

### 第3回 地域防災力の向上に関する検討委員会

日 時：令和7年12月5日（金）15:00～

場 所：神戸市役所1号館14階 AV1会議室

#### 議 事 次 第

#### 1. 開会

#### 2. 事務局からの説明

(1) 第2回委員会 まとめ 資料3

① 主なご意見（抜粋）

(2) 今後の方向性 資料4

#### 3. 議題

(1) 今後の方向性を踏まえた意見交換

(2) その他事項に関する意見交換

#### 4. 閉会

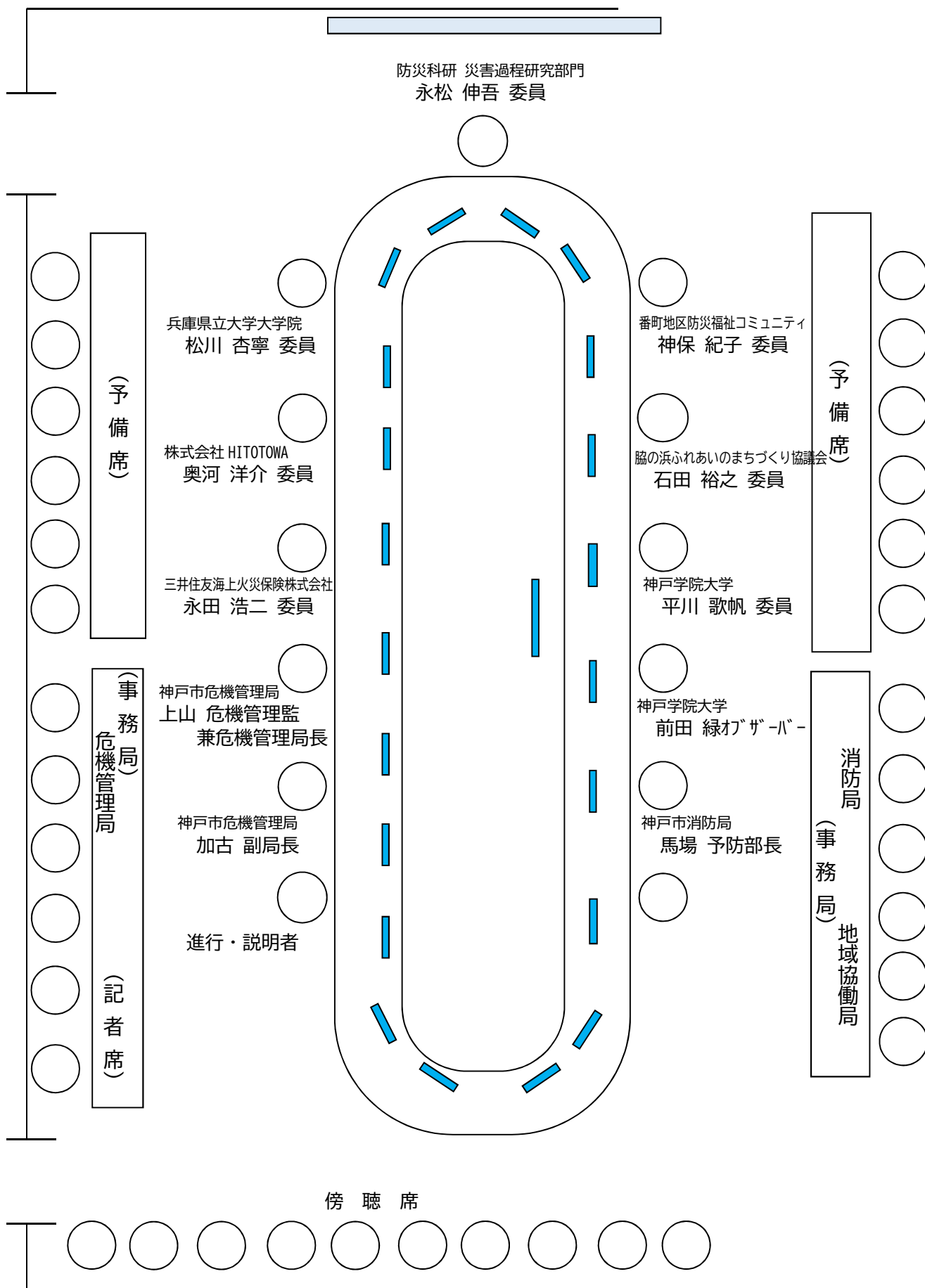
#### 【配布資料】

- ・資料1 議事次第（本紙）
- ・資料2 座席表
- ・資料3 第2回委員会 まとめ
- ・資料4 今後の方向性
- ・資料5 意見照会書

## 第3回神戸市地域防災力の向上に関する検討委員会 座席表

日 時：令和7年12月5日（金）15:00～

場 所：神戸市役所1号館14階 AV1会議室



資料3

# (1) 第2回委員会 まとめ



## ① 主なご意見（抜粋）



## ① 地域と行政との役割分担

- ・ 地域に期待する役割の検討、既存事業見直し
  - 「突発的な災害時等、市職員がただちに対応できない場合であっても、地域の方々が自ら避難所を開設し、安全に避難できる」ために必要な事項の整理
  - 既存事業の整理・見直し（簡素化）
  - 市役所・区役所における役割分担・窓口の明確化
  - 区役所が地域課題に取り組むために必要な予算措置
- ・ 時代に即した避難所の役割
  - 「緊急避難場所」と「避難所」の相違点の周知
  - 「在宅避難」の活用（避難時の安全確保、個々の事情に応じた避難生活等の観点）



## ① 地域と行政との役割分担【主なご意見】

---

- ・「役割分担」というと分断や縦割りの印象がでるため、互いの強みを生かして「協働」や「任せ合う体制をつくる」といった言い方にすべき。
- ・市役所・区役所や住民、NPO等がそれぞれの強みを生かしながら総合力を高めることが重要
- ・地域が担うべき仕事は何か、常にアップデートしながら考える必要がある。
- ・区役所と消防署に窓口があり、避難所開設に関する窓口の明確化が必要



## ② 担い手不足への対応（1/3）

- ・ 既存地域団体に対する取組み
  - 地域活動に参加を促すための機会・場の提供
  - 防災福祉コミュニティ等に対する補助制度の拡充  
（イベント開催等、比較的自由に活用できるメニューの追加等）
  - 防災士育成事業を活用した人材の確保、育成
  - 市内における防災士ネットワークの構築（情報・ノウハウの共有、協力関係の構築）



## ② 担い手不足への対応（1/3）【主なご意見】

---

- ・ 地域の活動に関わってもらうことが、防災や防コミへの関心や地域のつながりを生む。
- ・ 防災士育成事業により、大学生等が資格取得をきっかけとして防コミに参加する流れができればよい。
- ・ 防災士に係るネットワークの構築、活躍する場の確保、情報発信等が明確になれば、授業で防災士資格を取得した大学生の動機付けにもつながる。



## ② 担い手不足への対応（2/3）

- ・ 自治会空白地域等（マンション含む）に対する取組み

- 地域団体以外の様々なステークホルダーの協力、活用

【対 象】 地元企業、マンション等管理組合、NPO・ボランティア 等

【検討事項】 事業内容、マッチング手段・方法、報酬 等

- 市内で活動する職能ボランティアの養成



## ② 担い手不足への対応（2/3） 【主なご意見】

- ・ 地域・学区等の垣根を越えて、事例を共有する機会をつくることが重要
- ・ 高校生向けの防災教育で避難所運営を学べるボードゲームを活用しており、体験型の方が心を動かしやすい。
- ・ 全国に誇れるNPO資源を継続できるよう、学生団体等の防災やまちづくりに関わろうとしている人たちに加入してもらい、資金や運営フォロー等の支援を行う仕組みがあればよい。
- ・ 担い手がいないのではなく、やりたい人はいる一方で疲弊している地域があるなどミスマッチが生じており、これらをうまく繋いでいくことが打開策になる。
- ・ リーダーのリソース確保は重要。避難所運営は避難所に来た人たちが協力して行うなど、リーダーに抱え込ませすぎないことが大事



## ② 担い手不足への対応（3/3）

- ・ 地域による避難所開設・運営訓練の促進方策
  - 訓練内容・手順の標準化
  - インセンティブ（報酬・委託料等）付与の検討



## ② 担い手不足への対応（3/3）【主なご意見】

---

- ・ 金銭に限らず、多層多様なインセンティブ（褒める、賞状等）を考える必要がある。
- ・ 現状でボランティアを募るのは難しく、報酬があれば呼び込みしやすくなる。



### ③ 持続可能な地域防災体制の確立

- ・ 次世代育成への支援策（学生防災ボランティアサークル等）、防災教育
  - 防災ジュニアチームの活用・拡充
  - 学生防災ボランティアの協力、活用
- ・ 災害対策基本法等の改正を踏まえた議論
  - ボランティア等の避難所運営業務等への従事に対する実費弁償の検討



### ③ 持続可能な地域防災体制の確立【主なご意見】

---

- ・ 学生には金銭的なインセンティブよりも、活動時間の確保や事務作業の軽減等、活動しやすくなる制度があればよい。
- ・ 中学校のトライやるウィークで防災訓練を実施。毎年実施できればと思う。
- ・ 楽しい防災は興味を引く。知識・スキルを中学生・高校生に伝え、その子たちが地域に還元していく流れができればよい。

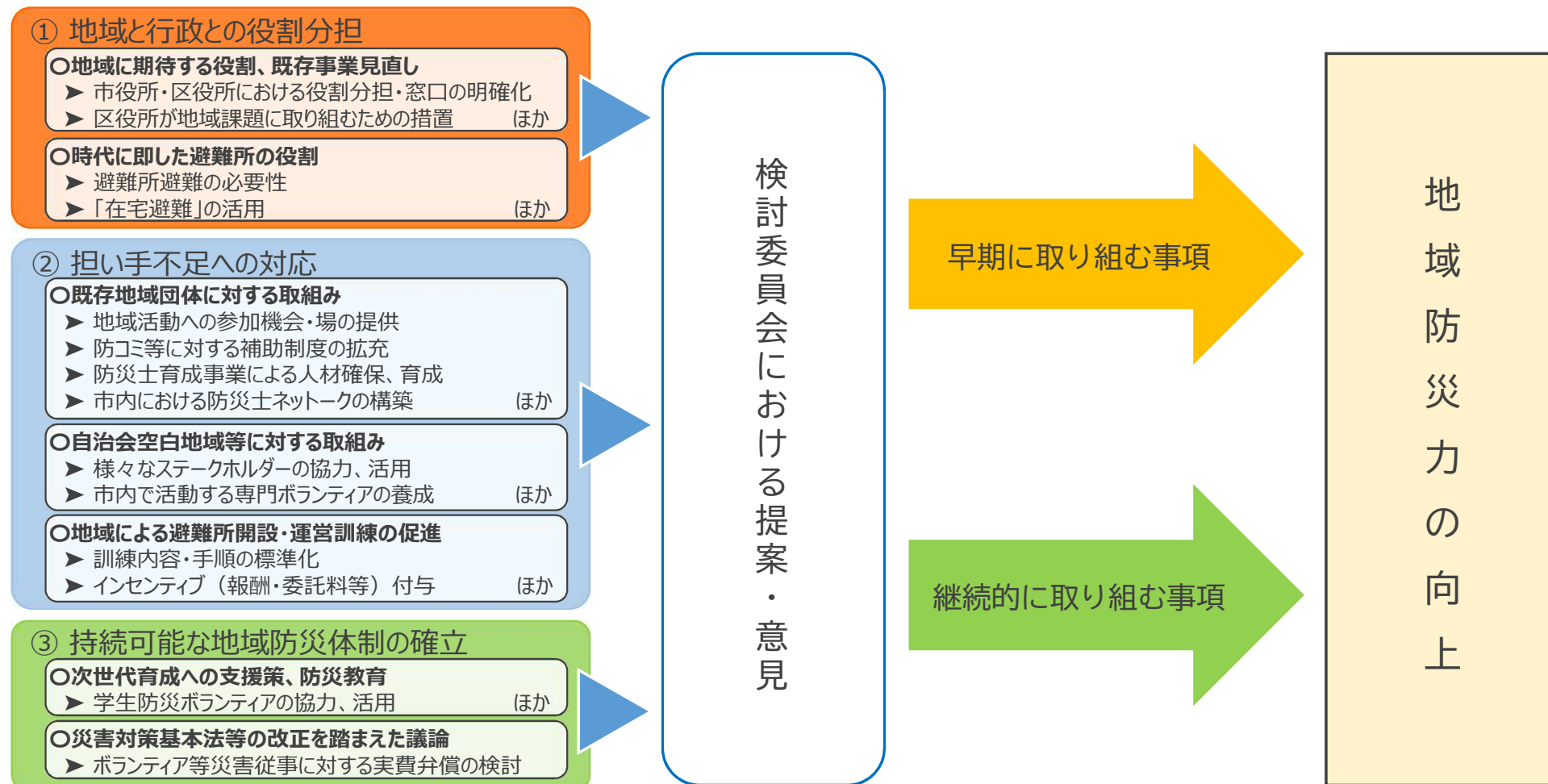


資料4

## (2) 今後の方向性



## ○今後の方向性（イメージ）



## ○早期に取り組む事項（1/6）

### ① 地域と行政との役割分担

#### ・ 地域に期待する役割の検討、既存事業見直し

- 「突発的な災害時等、市職員がただちに対応できない場合であっても、地域の方々が自ら避難所を開設し、安全に避難できる」ために必要な事項の整理
- 既存事業の整理・見直し（簡素化）

その他 市役所・区役所における役割分担・窓口の明確化

#### 具体的な取組み・検討内容

- ・ 防コミ、ふれまち事業の運用にあたり、部局間の連携をより密にし、市民目線に立った分かりやすく、利用しやすい制度運用ができるよう整理・調整

※ その他：第1回委員会で「検討委員会で検討いただきたい事項」として提示した項目中、第2回委員会論点整理の項目に含まれない項目を抜粋



## ○早期に取り組む事項（2/6）

### ② 担い手不足への対応

- ・ 既存地域団体に対する取組み
  - 地域活動に参加を促すための機会・場の提供
  - 防災福祉コミュニティ等に対する補助制度の拡充
- ・ 地域による避難所開設・運営訓練の促進方策
  - 訓練内容・手順の標準化
  - インセンティブ（報酬・委託料等）付与の検討

#### 具体的な取組み・検討内容

- ・ 訓練内容・手順の標準化（開設訓練として実施すべき事項と手順を明示）
- ・ 防コミ運営活動費メニューへの「避難所開設訓練」の追加（実績に応じた加算等）



## ○早期に取り組む事項（3/6）

### ② 担い手不足への対応

#### ・ 既存地域団体に対する取組み

- 防災士育成事業を活用した人材の確保、育成
- 市内における防災士ネットワークの構築

#### 具体的な取組み・検討内容

- ・ 防災士資格の取得機会の拡充（市主催研修の検討）
- ・ 市による防災士ネットワークの構築に向けた登録制度の創設
- ・ 防災士の人材育成や防災士間の交流を図るための場の創設（講演会 等）



## ○早期に取り組む事項（4/6）

### ② 担い手不足への対応

- ・ 自治会空白地域等（マンション含む）に対する取組み
  - 地域団体以外の様々なステークホルダーの協力、活用

#### 具体的な取組み・検討内容

- ・ 担い手のいない地域における地元企業、NPO・ボランティア、学生等を活用した避難所開設に向けた避難所開設訓練のモデル実施・検証

※ 下記の地勢・属性にあてはまる地域を選定（例示）

- ①郊外の住宅集積地域（いわゆるオールドニュータウン）等、若年層の流出によりコミュニティ継続が困難な地域
- ②マンションの集積等、一定の人口はあるが近隣との交流関係が薄いなど、コミュニティ形成が困難な地域
- ③人口密度が低い旧村落地域



## ○早期に取り組む事項（5/6）

### ② 担い手不足への対応

- ・ 自治会空白地域等（マンション含む）に対する取組み
  - 市内で活動する職能ボランティアの養成

#### 具体的な取組み・検討内容

- ・ 災害対応に関する専門的知見・技能を有する市民ボランティアの養成  
（早急に対応が必要な避難所運営を担えるボランティアの養成から実施）



## ○早期に取り組む事項（6/6）

### ③ 持続可能な地域防災体制の確立

- ・ 次世代育成への支援策（学生防災ボランティアサークル等）、防災教育
  - 学生防災ボランティアの協力、活用

#### 具体的な取組み・検討内容

- ・ 防災・減災活動に取り組む学生団体の交流・協働を促進するための仕掛けづくり



## ○継続的に取り組む事項（1/6）

### ① 地域と行政との役割分担

#### ・ 地域に期待する役割の検討、既存事業見直し

- 「突発的な災害時等、市職員がただちに対応できない場合であっても、地域の方々が自ら避難所を開設し、安全に避難できる」ために必要な事項の整理
- 区役所が地域課題に取り組むために必要な予算措置

その他 区災害対策本部としての地域への支援のあり方

#### 具体的な取組み・検討内容

- ・ 各地域の詳細な実情把握の推進
- ・ 区役所（区災害対策本部）として必要な体制・予算等の検討

※ その他：第1回委員会で「検討委員会で検討いただきたい事項」として提示した項目中、第2回委員会論点整理の項目に含まれない項目を抜粋

## ○継続的に取り組む事項（2/6）

### ① 地域と行政との役割分担

#### ・ 時代に即した避難所の役割

- 「緊急避難場所」と「避難所」の相違点の周知
- 「在宅避難」の活用（避難時の安全確保、個々の事情に応じた避難生活等の観点）

#### 具体的な取組み・検討内容

- ・ 「在宅避難」の選択を含む、災害の状況に適した避難先・避難方法等の検討
- ・ 避難所受付システム導入の検討（在宅避難を含む避難者情報を迅速、効率的に管理）
- ・ 市民が適切に判断できるよう正しい知識・情報の広報
- ・ 車中避難・ペット同室避難の取扱い



## ○継続的に取り組む事項（3/6）

### ② 担い手不足への対応

- ・ 自治会空白地域等（マンション含む）に対する取組み
  - 地域団体以外の様々なステークホルダーの協力、活用

#### 具体的な取組み・検討内容

- ・ 避難所開設訓練のモデル実施の検証結果を踏まえ、他の地域へ拡大
- ・ 新たなステークホルダーの掘り起こし、活用の検討



## ○継続的に取り組む事項（4/6）

### ② 担い手不足への対応

- ・ 自治会空白地域等（マンション含む）に対する取組み
  - 市内で活動する職能ボランティアの養成

#### 具体的な取組み・検討内容

- ・ 災害対応に関する専門的知見・技能を有する市民ボランティアの養成  
（風呂、温食提供等、様々な専門ボランティアの養成・掘り起こし）



## ○継続的に取り組む事項（5/6）

### ③ 持続可能な地域防災体制の確立

- ・ 次世代育成への支援策（学生防災ボランティアサークル等）、防災教育
  - 防災ジュニアチームの活用・拡充
- ・ 災害対策基本法等の改正を踏まえた議論
  - ボランティア等の避難所運営業務等への従事に対する実費弁償の検討
  - 持続可能性確保のための市による地域防災の担い手に対するインセンティブのあり方

#### 具体的な取組み・検討内容

- ・ 防災ジュニアの定着化・拡充等に向け、必要な施策を引き続き検討
- ・ 地元企業・ボランティア等による避難所運営業務を含む地域防災の担い手としての活動（平時・有事）に対する実費弁償の検討（国では災害発生時（原則として災害救助法の適用が必要）に限定）



## ○継続的に取り組む事項（6/6）

### ④ 第1回委員会 検討事項より

#### ・ その他の対する取組み

その他 地域での防災に関する情報共有の円滑化（LINEグループ、TEAMSの活用など）

#### 具体的な取組み・検討内容

- ・ 市民向け災害情報ツール（リアルタイム防災情報、災害掲示板等）の普及・啓発
- ・ 地域内における情報ツールの普及・啓発

※ その他：第1回委員会で「検討委員会で検討いただきたい事項」として提示した項目中、第2回委員会論点整理の項目に含まれない項目を抜粋



## 神戸市地域防災力の向上に関する検討委員会（第3回） 意見照会書

機 関 名)

委員氏名)

本日の議題等についてご意見ございましたら、以下にご記入の上、下記事務局までご回答をお願いいたします。

➤ 第2回会議を踏まえた今後の方向性について

意見記載欄

➤ その他

意見記載欄

【提出先】

〒650-8570

神戸市中央区加納町 6-5-1 神戸市役所 4 号館（危機管理センター） 2 階  
神戸市危機管理局防災企画課（被災者支援担当）

Fax：078-322-6031

Mail：kiki\_shien@city.kobe.lg.jp